

高校日本史プリント (過去問類似)

近世 No.9

名前

得点

/10

問1 江戸時代の農民の家族や生活に関して述べた次の文章中の空欄 [] に入る、夫から妻に渡された離縁状の俗称として最も適切な語句を答えよ。幕府や藩は農民の分家による田畑の細分化を防ぐため、分割相続を制限して単独相続を基本とした。こうした家制度が維持される一方で、庶民の間では離婚や再婚も行われており、離婚の際には夫から妻へ [] と呼ばれる書状が交付された。この書状は、妻が別の男性と再婚することを許可する法的な効力を持っていた。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 縁切寺 2. 五人組 3. 寺請状 4. 三行半

問2 江戸時代初期、徳川家康は西国大名や豪商らに朱印状を与えて海外渡航を奨励した。この時期、京都の商人であり、日本に漂着した前フィリピン総督の送還を機に、通商を求めてノビスパン (メキシコ) へ渡った人物は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 田中勝介 2. 山田長政 3. 支倉常長 4. 浜田弥兵衛

問3 1715年に新井白石の建議によって海舶互市新例が制定された。この法令は、ある特定の港を窓口として行われていた対外取引において、決済に伴う金銀の海外流出を抑制することを目的としていた。この取引が行われていた港はどこか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 対馬 2. 長崎 3. 平戸 4. 松前

問4 江戸時代後期、オランダ正月と呼ばれる太陽暦の元旦を祝う会合が催されたことでも知られ、大槻玄沢が江戸に開いた蘭学塾の名称を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 咸宜園 2. 洗心洞 3. 芝蘭堂 4. 鳴滝塾

問5 江戸時代の対外関係において、幕府が長崎での貿易を統制する一方で、独自の窓口を通じて異国との交易に関与し、富を蓄積した大名領国があった。1609年に南方の王国へ出兵してこれを服属させ、そこを經由して中国の貨物や特産品を独占的に買入れて日本国内に流通させることで、藩財政を潤す莫大な富を築いた藩の名称として最も適切なものを答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 土佐藩 2. 仙台藩 3. 薩摩藩 4. 長州藩

問6 16世紀以降、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカを結ぶ交易網が形成され、アフリカからカリブ海や南アメリカのプランテーションへ多数の労働力が強制連行された。この大規模な人口移動に伴い、それまでアメリカ大陸に存在しなかった熱帯熱などの病原体が持ち込まれ、現地に定着・拡大した。この交易体制を何というか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. 大西洋三角貿易 2. 広東貿易体制 3. 大西洋奴隷貿易 4. 朝貢貿易体制

問7 16世紀末、ヨーロッパから金属活字を用いた印刷技術が日本に伝わった。これにより、宣教師らによってローマ字を用いた宗教書や日本語辞書、さらには『平家物語』などの日本の古典が印刷・出版された。これらの書籍を何と呼ぶか。 (2026年 全国公立入試 類似)

1. キリシタン版 2. 駿河版 3. 嵯峨本 4. 伏見版

問8 19世紀前半、オランダ商館医として来日したドイツ人医師が、長崎郊外に開設し、高野長英や小関三英などの門下に西洋医学や博物学を教授した私塾の名称を何というか。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 懐徳堂 2. 咸宜園 3. 芝蘭堂 4. 鳴滝塾

問9 1839年の言論弾圧事件において、渡辺崋山や高野長英らが著書の中で批判した、日本近海に接近する外国船を問答無用で撃退することを命じた、1825年に江戸幕府が出した法令は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 日米和親条約 2. 日露通好条約 3. 異国船打払令 4. 海舶互市新例

問10 天保の改革において、江戸 (御府内) に流入した農民を強制的に故郷の農村へ帰村させる法令を発令するなど、幕政の立て直しを図ったものの、厳しい統制策が反発を招いて失脚した老中は誰か。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 阿部正弘 2. 松平定信 3. 田沼意次 4. 水野忠邦

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 4 三行半	江戸時代の農民の間では、田畑の細分化を防ぐために分割相続が制限され、家督とともに一子に単独相続させることが基本となった。一方で、庶民の婚姻関係においては離婚や再婚が比較的柔軟に行われており、離婚の際には夫から妻へ「三行半」と呼ばれる離婚状（離婚状）が渡された。これは、妻が他家へ再婚することを許可する法的な証明書としての役割を果たしており、これを持たずに再婚することは不義理（密通）として処罰の対象となった。
問2	答え 1 田中勝介	1609年に上総国に漂着した前フィリピン総督ドン・ロドリゴらを送還するため、徳川家康は京都の商人である田中勝介らをノビスパン（メキシコ）へ派遣した。これは日本人が太平洋を横断した初期の事例であり、通商交渉を目的としていた。
問3	答え 2 長崎	江戸幕府は、長崎を公認の対外貿易港（オランダ・清との取引窓口）としていた。しかし、長崎貿易の決済として多量の金銀が海外に流出したため、新井白石は1715年に海舶互市新例を制定して貿易を制限した。
問4	答え 3 芝蘭堂	大槻玄沢が江戸に開いた芝蘭堂では、寛政6年（1794年）から、太陽暦の元旦を祝う「オランダ正月」と呼ばれる独自の年中行事が行われ、多くの蘭学者や知識人が交流する場となった。大坂の適塾などと並び、江戸時代を代表する学問の拠点である。
問5	答え 3 薩摩藩	1609年に島津家久が琉球王国に出兵してこれを支配下に置いた。この藩は、琉球が中国（明・清）と行っていた朝貢貿易を継続させ、琉球を通じて流入する中国産の生糸や薬種、琉球の特産品である黒糖などを独占的に買い上げ、京都や大坂などの日本国内市場に売りさばくことで巨額の利益を得た。これが藩財政を支える重要な基盤となった。
問6	答え 1 大西洋三角貿易	16世紀から19世紀にかけて行われた大西洋三角貿易では、ヨーロッパから武器や雑貨がアフリカへ、アフリカから黒人奴隷がアメリカ大陸へ、アメリカ大陸から砂糖やタバコがヨーロッパへ運ばれた。このうち、アフリカからアメリカ大陸への黒人奴隷の強制連行に伴い、アフリカに土着していたマラリアなどの病原体がアメリカ大陸に持ち込まれ、現地で感染症が拡大する要因となった。
問7	答え 1 キリシタン版	桃山文化の時期、南蛮貿易やキリスト教の布教に伴ってヨーロッパの文化が流入した。イエズス会宣教師らによって金属活字を用いた活版印刷機がもたらされ、ローマ字を用いた宗教書や日本語辞書、日本の古典などの書籍が出版された。これらは布教や宣教師の日本語学習に用いられた。
問8	答え 4 鳴滝塾	1823年にオランダ商館医として来日したドイツ人医師シーボルトは、長崎郊外に鳴滝塾を開いた。ここでは多くの門弟に西洋の医学や博物学が教授され、日本の近代科学の発展に大きな影響を与えた。
問9	答え 3 異国船打払令	1825年、江戸幕府はイギリス船やロシア船の接近に対抗して異国船打払令（無二念打払令）を出し、日本沿岸に接近する外国船を撃退する方針をとった。1837年のモリソン号事件で実際にこの法令が適用されたことを契機に、渡辺華山や高野長英らは幕府の対外政策を批判し、1839年の蛮社の獄で弾圧されることとなった。
問10	答え 4 水野忠邦	天保の改革を主導した老中水野忠邦は、江戸の治安維持と農村の復興を図るため、江戸に流入した農民を強制的に帰村させる「人返しの法」を発令した。水野忠邦はほかにも、株仲間の解散や上知令などの厳しい改革を実施したが、社会の混乱や猛反発を招き、わずか2年余りで失脚することとなった。